

図表でみる 複十字病院の概要

Ver. 2017



複十字病院

FUKUJUJI HOSPITAL

Japan Anti-Tuberculosis Association

2017年4月

複十字病院は、緑と自然に包まれた“医療と福祉の街”清瀬で、「結核・呼吸器疾患」、「がん」、「生活習慣病」の専門医療を柱に、地域に根ざした病院として歩みつづけています。

医療と福祉の街一きよせ（清瀬）

清瀬市。その昔、日本武尊（やまとたけるのみこと）がこの地を訪れ、「清き土なり」と言ったという「清戸（土）」と、市内を流れる柳瀬川の「せせらぎ（瀬ぎ）」から、一文字ずつとって名付けられたといわれています。複十字病院は、こんな清瀬の中でも、松・竹・梅を冠した周辺の地名（松山、竹丘、梅園）が示すように、緑豊かな地にあります。

都心に直結した「緑と自然の街」

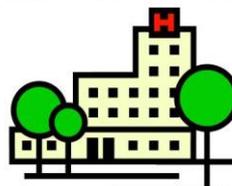


人口7万人を超える清瀬市は、いま発展中の街でもあります。JR山手線のターミナル駅である池袋へ西武池袋線で30分。地下鉄有楽町線、副都心線、東横線の乗り入れで、銀座や渋谷・横浜へも清瀬始発、乗り換えなしで行けるようになりました。

緑豊かな清瀬は、かつて結核サナトリウムの街でもありました。複十字病院の周辺には最高5千床を超える結核ベッドがあったといわれています。その伝統を継いで、清瀬は、“医療と福祉の街”でもあるのです。今、複十字病院をはじめ清瀬市内の病院には、500床を超える呼吸器疾患の

「医療と福祉の街」一特に呼吸器医療

清瀬市 人口73,000人



総病床数 2,200床
呼吸器病床数 500床

結核研究所、明治薬科大学、日本社会事業大学、国立看護大学
日本看護協会看護研修学校
多摩全生園、ハンセン病研究センター（東村山市）



複十字病院が属する医療圏

北多摩北部医療圏：人口72万人
小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市



専門病床があります。日本でこれほど呼吸器を専門とする街はありません。

清瀬市は隣接する東村山市、東久留米市、小平市、西東京市とともに北多摩北部二次医療圏に属しています。ここには、練馬区とほぼ同じ72万人の方々が生活されています。

結核予防会と複十字病院

複十字病院は、1939年に設立された財団法人結核予防会（総裁秩父宮妃勢津子殿下）のもとに、第二次大戦後、日本の結核医療をリードしてきた結核研究所の臨床研究部として

て発足しました。今、「公益財団法人結核予防会」（総裁：秋篠宮妃紀子殿下）のもとで、結核の研究と国内対策・国際技術支援とともに、呼吸器、がん、生活習慣病の予防から医療・介護を進めています。



結核研究所
研究・対策・国際



複十字病院(339床)
複十字訪問看護ST



保生の森
介護老人保健施設



第一健康相談所
予防（人間ドック・集団検診）



新山の手病院(180床)



グリーンエスハイム新山手
メディカルマンション

1947年	結核研究所臨床部として病床開設(152床)
1958年	結核研究所付属療養所〓に名称変更(635床)
1976年	本館を新築
1977年	結核研究所付属病院に名称変更 呼吸器疾患全般に拡大、消化器科開設
1988年	中央病棟を新設
1989年	複十字病院に名称変更
1997年	南館、新外来棟を新設
2003年	複十字病院登録医会が発足
2004年	乳腺科開設(2006年乳腺センター)
2005年	PETセンター開設
2006年	新外来棟増設
2009年	呼吸器センター、生活習慣病センター、 呼吸ケア・リハビリセンターの再編開設 PACS(院内画像配信システム)導入 看護師宿舎、保育園の移設新築 DPC病院に指定、救急告示
2010年	東京都二次救急指定
2011年	結核高度専門施設に指定 相談支援センター・訪問看護ステーションの開設
2012年	東京都がん診療連携協力病院に指定 (肺がん・大腸がん・乳がん)
2013年	長崎大学連携大学院(臨床抗酸菌学)発足 認知症診療支援センター開設
2016年	診療情報管理部、結核センター、臨床医学研修部を開設 組織改正に伴いがんセンター、認知症センター、薬剤部に改組

複十字病院は、「結核・呼吸器」、「がん」、「生活習慣病」の3つの専門医療を柱に、隣接する結核研究所、東村山の新山手病院と共同して、地域に根ざした病院として新しい歩みをつづけています。

+ 複十字の由来

複十字 (Double-Barred Cross) は、9世紀頃、あるキリスト教派の象徴として使われていました。その後、第1回十字軍の指導者ローレーヌ公がこれを楯の紋章にして戦ったことからローレーヌ十字とも呼ばれ、平和と希望の象徴となりました。1902年、ベルリンでの第1回国際結核会議で、複十字を結核予防運動の世界共通のシンボルマークとすることが決定され、以来世界中で使われてきました。

診療の規模

複十字病院は 339 床（一般病床 238 床（看護配置 10 対 1）、療養病床 41 床、結核病床 60 床）の入院病床があり、1 日 530～550 人の外来診療を診療しています。

<入院診療科>

呼吸器内科・呼吸器外科・消化器内科・消化器外科・

乳腺外科

<外来一覧>

呼吸器内科・呼吸器外科・消化器内科・消化器外科・乳腺外科

循環器内科・内科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・糖尿病内科・歯科・

ものわすれ外来

<院内他科からの紹介のみの外来(初診は診察しておりません)>

整形外科・化学療法科・神経内科・眼科・皮膚科・精神科

放射線治療科・緩和ケア外来

健康管理センター

複十字訪問看護ステーション

病床数

病棟名	病床数	診療科
2A病棟	42	呼吸器内科
3A病棟	60	呼吸器内科
1C病棟	48	消化器外科
2S病棟	43	呼吸器外科
3S病棟	45	乳腺外科 消化器内科
一般病棟	238	
療養病棟	41	療養
結核病棟	60	結核
合計	339	

この医療を支えるために、複十字病院には 117 名の医師（常勤 49 名）をはじめ常勤職員 326 名、非常勤職員 263 名が医療に従事しています（2016 年 3 月現在）。

職員数

職種	常勤	非常勤(実人数)	合計
医師	49	68	117
看護員	189	29	218
技術員	60	16	76
その他	28	150	178
合計	326	263	589



医療の特徴

複十字病院は、結核・呼吸器、がん、生活習慣病の 3 つを柱として医療を進めています。

(1) 結核・呼吸器の専門医療

呼吸器センター及び結核センターでは、伝統ある結核医療を結核研究所との連携のもとに、日本でも中核的な役割を果たしており、厚生労働省から東日本で唯一の結核「高度専門施設」に指定され、2013 年から長崎大学連携大学院（臨床抗酸菌学）になりました。また、年間切除 100 例を超え都内 10 指に入る肺がん診療と、国内最大規模の非結核性抗

酸菌症の診療は複十字病院の重要な特色です。呼吸ケアリハビリセンターは、COPD など高齢社会が求める、複十字病院の新しい特色となっています。

多剤耐性肺結核等の外科手術

(2013年)

施設名	肺結核外科	腫瘍外科
NHO近畿中央胸部疾患センター	15(4)	
都立駒込病院	13	4
結核予防会複十字病院	11(7)	7
聖隷三方原病院	3	5
NHO刀根山病院	3	11
埼玉医大総合医療センター	3	
NHO東京病院		8
長崎大学		6
東北大学		4
結核予防会大阪病院		4
合計	48(11)	49

()内は多剤耐性肺結核 高度専門病院

*平成26年度外科科会研究報告書より

肺がんの都内ランキング

(2014年4月～2015年3月の12か月実績)

東京都順位	病院名	退院患者数
1	東京病院	1,677
2	国立がん研究センター中央病院	1,645
3	がん研究会有明病院	1,318
4	東京医科大学病院	1,264
5	東京都立多摩総合医療センター	1,092
6	複十字病院	1,017
7	杏林大学医学部付属病院	997

病院情報局データより

(2) がんの集学的医療

複十字病院に入院される患者さん(年間約4千700人)の43.7%は、がんの患者さんです。胃がん、大腸がんをはじめ消化器疾患の治療にあたる消化器センター、年間75例を超える乳がん手術にあたる乳腺センター

は、呼吸器センターでの肺がん化学療法やPET-CT、放射線治療とともに、複十字病院の「がん」医療の柱になっています。2016年4月に肺がん、大腸がん、乳がんは、それぞれ東京都がん診療連携協力病院に指定されました。ちなみに人口400万人の多摩地区(北多摩北部、北多摩西部、北多摩南部、

大腸がんの都内ランキング
(2014年4月～2015年3月の12か月実績)

東京都順位	病院名	退院患者数
1	がん研究会 有明病院	701
2	国立がん研究センター中央病院	613
3	虎の門病院	572
4	東京都保健医療公社 東部地域病院	551
5	帝京大学医学部付属病院	536
省 略		
18	日本赤十字医療センター	315
19	複十字病院	312

病院情報局データより

直腸肛門の都内ランキング
(2014年4月～2015年3月の12か月実績)

東京都順位	病院名	退院患者数
1	がん研究会 有明病院	764
2	東京大学医学部付属病院	687
3	虎の門病院	590
4	国立がん研究センター中央病院	479
5	東京都立駒込病院	405
省 略		
28	日本大学病院	160
29	複十字病院	160

病院情報局データより

乳がんの都内ランキング
(2014年4月～2015年3月の12か月実績)

東京都順位	病院名	退院患者数
1	がん研究会 有明病院	1,221
2	聖路加国際病院	877
3	国立がん研究センター中央病院	729
4	昭和大学病院	529
5	東京都立駒込病院	527
省 略		
24	順天堂大学医学部付属練馬病院	175
25	複十字病院	157

病院情報局データより

南多摩、西多摩)の大学附属病院や公立病院を含むDPC病院37施設の中で、複十字病院の取り扱い患者数は大腸がん1位、肺がん第3位、乳がんも5位に入っています。

こうした、高度のがんの医療を進めるには、優れた外科医、放射線専門医、化学療法専門医などの力を集めた“集学的医療”が必要です。放射線領域では、PET-CT、3D放射線治療装置などさまざまな高度な機器が活躍しています。また、**がんセンター**では外来化学療法室と緩和ケア診療科がそれぞれの専門領域を超えた、すべてのがんを対象にした診療支援を行っています。

(3) 生活習慣病と地域医療

高齢化社会の進行のなかで、高血圧、糖尿病をはじめ生活習慣病の予防と治療は大きな課題です。生活習慣病(循環器、糖尿病)は、**糖尿病・生活習慣病センター**にて外来診療、2015年度からは糖尿病の教育入院も行っております。認知症は早期に治療を開始することによって症状を改善させ、進行を遅らせることができます。**認知症疾患医療センター**ではMRIや脳血流シンチグラム、PETを駆使して、アルツハイマー病の早期発見と早期治療を進めます。**歯科・口腔ケアセンター**では2013年より周術期口腔機能管理を開始し、歯科と医科の連携を推進しています。また、複十字病院に併設された**健康管理センター**では、地域と企業のみなさんの健康診断と人間ドックをおこなっており、疾患の予防と早期発見に努めています。地域のみなさんの健康と医療は、もとより複十字病院だけで守れるものではありません。複十字病院は清瀬市医師会、北多摩医師会に所属するとともに、複十字病院独自の「登録医会」制度があり、かかりつけ医240名の先生方との病診連携を推進しています。2009年、救急告示病院(東京都二次救急病院)となり、呼吸器、消化器を中心に月間約100台の救急車を受け入れています。2011年にはこれまで院内にあった訪問看護室が「**複十字訪問看護ステーション**」として独立しました。これによって、複十字病院だけでなく他の病院やかかりつけ医の先生方からの依頼にも応えることができるようになりました。複十字病院は登録医会を中心に清瀬市医師会や地域の先生方や病院の先生方と病診・病病連携を密にした地域の基幹病院を目指しています。

主要放射線機器

コンピュータ断層撮影装置(CT)

シーメンス社 SOMATOM Definition AS+ (2014/3/31) 64列

シーメンス社 BIOGRAPH DUO LSO (2005/9/30)

東芝社 Asteion Super 4Edition (2011/12/8)

磁気共鳴断層撮影装置(MRI)

シーメンス社 MAGNETOM Aera (2014/11/27) 1.5ステラ

核医学検査に関する放射線診断装置

PET/CT装置 シーメンス社 BIOGRAPH DUO LSO (2005/9/30)

SPECT装置 シーメンス社 E-COM (1999/9/30)

マンモトーム

ジョンソン・エンド・ジョンソン マンモトーム(EX2007/11/1)

血管造影連続撮影検査(またはIVR専用)に関する放射線診断装置

DSAを含むIVR 東芝社アルチマックス (2004/1/5)

外部照射装置

リニアックシーメンス社(東芝)プライムス M2-6745(2011/9/10)

放射線治療計画専用CT

東芝社 Asteion Super 4Edition (2011/12/8)

三次元放射線治療計画ワークステーション

富士フィルム社 SYNAPSE VINCENT (2014/3/31)

院内散歩

4月初めになると複十字病院の敷地は桜が満開になります。なかでも、南館の庭に花開くしだれ桜は見事です。1998年秋篠宮文仁親王殿下、秋篠宮妃紀子殿下のご夫妻がお手植えになられた桜です。秋には美しい紅葉が心を和ませてくれます。



桜の季節には、正面玄関の前の花壇には、スイセンとチューリップが花を開きます。中央の区画には、スイセン「プリンセス・キコ」が可



憐な花を咲かせます。秋篠宮ご夫妻が浜名湖花博（2004年4月）でオランダ球根生産者協会の代表団とお言葉を交わされた際、スイセンの新品種に紀子妃殿下のお名前を冠するご承諾を得て、名付けられたスイセンです。この花壇のスイセン

「プリンセス・キコ」の球根は、複十字病院が秋篠宮妃紀子殿下より頂いたものです。

村上ケイ子画伯の絵画



南館の廊下に展示されている油絵の作者、村上ケイ子画伯（1914年～2010年）は、結核予防会初代総裁秩父宮妃勢津子殿下と交流があり、画伯の1周忌を機会に、ご子息である村上彰様（社団法人日本呼吸器学会前事務長）から複十字病院へ寄贈されたものです。昨年秋には、総裁秋篠宮妃紀子殿下もご覧になりました。画伯（朱葉会役員、光風会会員、慈彩会会員）は1979年、乳がん手術の後遺症により右手が麻痺。左手に筆を持ち替えて再び描き始めました。画伯の絵は、他に4A病棟（秩父宮妃記念

病棟）、3S病棟にも展示されています。右の写真は御殿場の秩父宮別邸で制作中の画伯と妃殿下（村上彰氏提供）

六つの石の彫刻



「母子像 3」

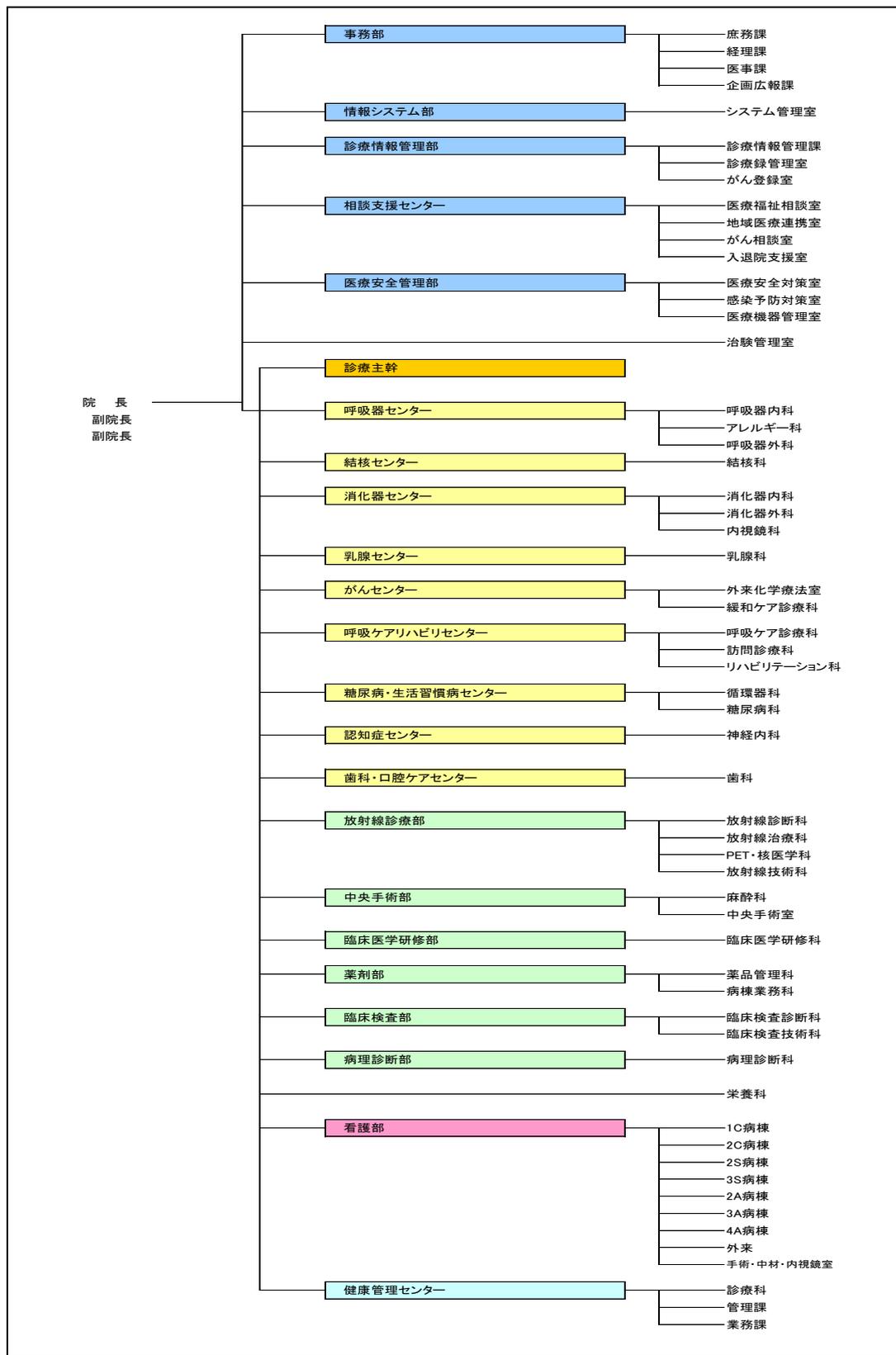
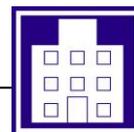


「和」

病院玄関前に芝生の小さな丘があり、中久木秀一作品が6点、展示されています。中久木作品の特徴は省略ギリギリのラインで成り立っており、具象の限界であると共に、鑑賞者に想像する権利を与えてくれています。それらは温もりを感じさせる作品で、その作品と対話をなさってみるのも一つの観賞方法ではないでしょうか？

（作品名：「母子像 1～4」「和」「家族」）
作品は中久木氏寄贈（一元会会員 横浜市在住）

附1：複十字病院組織図



附2：複十字病院幹部職員

院長	副院長	副院長	【結核予防会理事長・前院長】
			
後藤元（医師：呼吸器内科） 尾形英雄（医師：呼吸器内科） 池田義毅（医師：消化器外科） 工藤翔二（医師：呼吸器内科）			
名誉院長 顧問 感染症顧問 臨床研究アドバイザー 地域医療アドバイザー がん診療アドバイザー 呼吸器センター長 // 結核センター長 消化器センター長 診療主幹 診療主幹 乳腺センター長 がんセンター長 呼吸ケアリハビリセンター長 センター付部長 糖尿病・生活習慣病センター長 認知症疾患医療センター長 歯科・口腔ケアセンター長 中央手術部長 放射線診療部長 診療主幹 診療主幹 臨床検査部長 病理診断部長 情報システム部長 診療情報管理部長 健康管理センター長 事務部長 看護部長 地域医療支援センター長 医療安全管理部長	尾形正方（医師：元複十字病院院長） 荒井他嘉司（医師：NHO災害医療センター名誉院長） 松本慶蔵（医師：長崎大学名誉教授） 倉島篤行（医師：元NHO東京病院臨床研究部長） 中島正治（医師：元厚生労働省健康局長） 佐々木常雄（医師：都立駒込病院名誉院長） 白石裕治（医師：呼吸器外科） 佐々木結花（医師：呼吸器内科） 吉山 崇（医師：呼吸器内科） 生形之男（医師：消化器外科） 中浦 寛（医師：消化器外科） 吉原和雄（医師：消化器内科） 武田泰隆（医師：乳腺外科） 吉森浩三（医師：呼吸器内科） 吉田直之（医師：呼吸器内科） 千住秀明（理学療法士） 及川眞一（医師：糖尿病科） 飯塚友道（医師：神経内科） 石黒和夫（歯科医師） 宮崎 聡（医師：麻酔科） 伊藤正光（医師：放射線治療科） 黒崎敦子（医師：放射線診断科） 早坂和正（医師：PET・核医学科） 野内英樹（医師：臨床検査診断科） 菊地文史（医師：病理診断科） 早乙女幹朗（医師：呼吸器内科） 内山隆司（医師：呼吸器内科） 鈴木文男（医師：循環器内科） 菊地とおる（事務） 渡部昌子（看護師） 早乙女幹朗（医師：連携支援） 鷹觜昌子（看護師：相談支援） 佐藤厚子（看護師）		

複十字病院の理念

複十字病院は
等しく質の高い温かな
医療と看護を提供するとともに
医療連携を推進し地域社会が求める
包括的な医療の実現を目指します

●病院運営の基本方針●

1. 呼吸器疾患、がん、生活習慣病を柱とした質の高い温かな医療と看護の充実を図る。
2. 国の高度結核専門施設、東京都（肺がん、大腸がん、乳がん）診療連携協力病院としての役割を果たす。
3. 複十字病院登録医会を中心に医療連携を推進し、在宅医療、救急医療、災害時対応など地域医療に貢献する。
4. 健診事業を発展させ、疾患の早期発見と予防医療を推進する。
5. 複十字病院『患者権利章典』を尊重する。

○ 複十字病院患者権利章典 ○

患者のみなさまは、人間としての尊厳のもとに医療を受ける権利があります。医療は患者と病院がお互いの信頼関係のなかで共につくり上げるものであり、みなさまに主体的に参加していただくことが必要です。病院と病院職員は「患者中心の医療」の理念のもとに、複十字病院『患者権利章典』を守り、みなさまの医療に対する主体的な参加を支援します。

患者さんの権利

1. 人格を尊重され、思いやりのある最新で最良の医療を受ける権利があります。
2. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて知る権利があります。
3. 十分な説明を受けた後、ご自身の選択に基づく治療を受け、また、法の許す範囲で拒否する権利があります。
4. 他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利があります。
5. プライバシーを保護される権利があります。
6. ご自身の診療記録、治療費の内容について開示を求める権利があります。
7. 退院後のことについて指導を受ける権利があります。

患者さんにご協力いただくこと（責任）

1. ご自身のこれまでの病歴や現在の病状について担当医に詳しくお話し下さい。
2. 病気を治すために、ご自身も必要な努力をして下さい。
3. 治療を継続して受けられない場合は、担当医師にご相談下さい。
4. ご自身や他の方の診療、入院生活に支障を与えないようにして下さい。

複十字病院の主な資格

[指定施設]

東京都指定二次救急医療機関・東京都肺がん診療連携協力病院・東京都大腸がん診療連携協力病院・東京都乳がん診療連携協力病院・東京都感染症診療協力医療機関・東京都感染症入院医療機関・結核医療高度専門施設（厚生労働省）長崎大学連携大学院（臨床抗酸菌症学）

[学会認定施設]

日本内科学会教育関連病院、日本外科学会、日本麻酔科学、日本がん治療認定医機構、日本呼吸器学会、日本アレルギー学会、日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会、呼吸器外科専門医認定機構、日本呼吸器内視鏡学会、日本消化器外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本静脈経腸栄養学会、日本乳がん学会、マンモグラフィー検診精度管理中央委員会、日本核医学会、日本臨床細胞学会

ご案内

近隣の医師・医療施設の皆様へ：

一般病棟（238床）：呼吸器（内科・外科）、消化器（内科・外科）、乳腺（外科）、生活習慣病（糖尿病）を中心に運営しています。

療養病棟（41床）：医療療養病床で、酸素療法が必要な患者さんや一般病床での治療が終了して自宅介護等を目指す患者さん、ショートステイ希望の患者さんを受け入れています。

結核病棟（60床）：高度結核専門施設（厚労省）として運営しています。

当院では、結核が疑われながら確定診断がついていない患者さんも受け入れています。

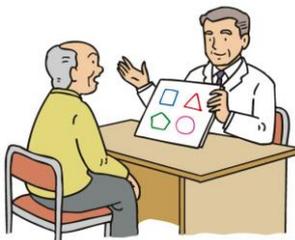
後期研修医の募集について：

呼吸器内科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科の若い皆さんの応募を待っています。

呼吸器内科は長崎大学連携大学院に入学の機会があります。

《問い合わせ先：事務部庶務課 042-491-9234》

健康管理センター/人間ドックのご案内



健康管理センターは病院と一体化しているため、疾病が見つかった後も速やかに外来に移行し、精密検査や治療を受けることができます。PET/CTを使った全身のがん検診も行っています。また、医師、管理栄養士が検査結果に基づいて生活指導、相談を受けており、皆様の健康管理にお役に立てる体制を整えています。

人間ドック・各種健診：042-491-4712（直通）

特定健診：042-428-0760（直通）



「複十字訪問看護ステーション」のご案内

- ・利用される方々のQOL(生活の質)の維持・向上をめざした訪問看護を心がけています。
- ・予防的なケアを重視し自立した日常生活が送られるよう支援します。
- ・在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、経管栄養法、中心静脈栄養法など 医療依存度の高い訪問看護ケアをおこないます。（管理者：山川裕見子）

複十字訪問看護ステーション 042-491-9208

複十字病院への交通は

◆電車で

西武池袋線清瀬駅南口から 徒歩 10 分
または バス停 3 つ目 複十字病院バス停

◆車で

小金井街道「清瀬高校入口」信号から図書館通りを 300 メートル
所沢街道「全生園東」信号から病院街通りを 2 キロメートル



病院代表電話

TEL : 042-491-4111

FAX : 042-492-4765

〒204-8522 東京都清瀬市松山 3-1-24

患者の皆様へ

TEL : 042-491-6228 (外来予約専用)

ホームページ

<http://www.fukujuji.org/>

医師の皆様へ / 医療連携室

TEL : 042-491-9128

健康管理センター / 人間ドック申し込み

TEL : 042-491-4712

複十字訪問看護ステーション

TEL : 042-491-9208

看護師募集

複十字病院は 2 交代、10 対 1 看護配置で、看護師の中途退職が少ないことも誇りにしています。新卒者でも心配ありません。「プリセプター制度」が定着しているからです。2010 年、敷地内に看護師宿舎と保育所を新築しました。複十字病院では 40 年前から 24 時間の院内保育を続けてきました。木の香りする広々とした新築の保育園は、夜間でもお子さんを託して働ける大切な助けになっています。



詳しくは、複十字病院ホームページ (<http://www.fukujuji.org/>) へどうぞ。